



果樹特報 No.5

令和6年5月17日
JA中野市営農センター
JA中野市りんご・もも部会

6月中下旬～7月上旬（梅雨時期）は、炭そ病・輪紋病・褐斑病の重点防除期間になります。散布量を多めに設定し、樹全体に万遍なく散布してください。

（調査地区：平岡）

2024 生育：発芽 4/2 展葉：4/10 開花：4/23 満開：4/25 落花：4/30

【第7回 定期散布】 褐斑病重点防除期間

*散布時期は目安です。生育状況により前後する可能性があります。

【定期散布】散布日

____月 ____日（ ）

散布量

_____ℓ

散布時期	6/8～15 *前回から14日以内		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
	オンリーワンフロアブル	50ml	（7日前、3回）
	ラビライト水和剤	200g	（30日前、1回）
	サイアノックス水和剤	100g	（14日前、1回）
対象病害虫	褐斑病、炭そ病、輪紋病、斑点落葉病、黒星病、シンクイムシ類 キンモンホソガ、ハマキムシ類、リンゴワタムシ、 クワコナカイガラムシ若齢幼虫		
散布量	600ℓ / 10a		
注意事項	①【輪紋・炭そ病対策強化】ラビライト水和剤に代えてオキシラン水和剤の500倍（14日前、4回）を使用する。		

● りんご褐斑病について 発生箇所・感染時期等を確認し防除を徹底しましょう

- ① 初期発生部位：主に、果そう葉、新梢基部葉
- ② 発生箇所：主に、樹冠内部、園地外周（薬剤のかかりにくい部分中心）
- ③ 病斑特徴：病斑部が緑色で、その周りが黄化する。
- ④ 感染時期：主に6月下旬～7月。発病までに1ヶ月程度。降雨により感染拡大。

次面もご覧ください。
（第8回定期散布 他）

次回発行予定
6/17（月）

【第8回 定期散布】

【定期散布】 散布日

____月 ____日(____)

散布量

_____ℓ

*散布時期は目安です。生育状況により前後する可能性があります。

散布時期	6/22~6/29 *前回から 14 日以内		
散布薬剤	水	100ℓ 当たり	
	展着剤 (ハイテンパワー)	10ml	
	劇 バイスロイド EW	50ml	(7 日前、4 回)
	フリントフロアブル 25	50ml	(前日、4 回)
	ユニックス顆粒水和剤 47	50g	(14 日前、4 回)
対象病害虫	褐斑病、炭そ病、輪紋病、腐らん病、斑点落葉病、黒星病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ		
散布量	600ℓ / 10a		
注意事項	<p>①【輪紋病対策】IC ボルドー412 の 30 倍を 7 月初旬に特別散布する。ただし、早生種には散布しない。(メモ 散布日: ____月 ____日)</p> <p>②【ハダニ対策】コロマイト乳剤の 1,000 倍(前日、1 回)を加用する。</p> <p>③バイスロイド EW は劇物登録農薬です。購入の際は印鑑をご持参ください。</p>		

● 予備摘果について

園地をよく確認し結実が良好な場合は、早めに摘果を行い、肥大の良い果実を生産しましょう。

1、予備摘果の目的

- ・貯蔵養分の消費を防ぐ
- ・果実肥大を促す
- ・翌年の花芽を確保する

2、予備摘果の時期

がく立ちを認めてから、満開 30 日頃まで

3、予備摘果の方法

頂芽の生育良好な果そうの側果を摘果し、中心果を残す。生育不良、腋芽、骨格枝の先端、真上、真下の向いた果そうは摘果する。ふじの中心果が生育不良な場合、生育が良好な側果を残す。秋映、つがる、スイート等胸サビ・つるサビになりそうな品種は中心果を残すことを基本とする。

4、品種別留意点

「秋映」

開花の遅いものはさび果になりやすいので満開までに一輪摘花を行う。

一輪摘花ができなかった園地は、できるだけ早くあら摘果を行う。

「シナノリップ」

早生品種であり、生育期間が短いため、早期に摘果を行う。

「シナノスイート」

摘果が早すぎると心かびの発生が多くなる可能性があるので満開後 3~4 週間後に行う。

「シナノゴールド」

肥大を促すため早めに行う。